NEWS RELEASE

各　位

平成 29 年 1 月 19 日
株式会社イントランス
阪神電気鉄道株式会社

阪神電鉄＋大多喜ハーブガーデン、ハーブ・キノコ分野で連携

～ 農業分野に鉄道事業で培われた「安心・安全」を提供します ～

株式会社イントランスの連結子会社である株式会社大多喜ハーブガーデン（本社：千葉県夷隅郡、代表取締役社長 麻生正紀、以下「大多喜ハーブガーデン」）と阪神電気鉄道株式会社（本社：大阪市福島区、社長：藤原 崇起、以下「阪神電鉄」）は、大多喜ハーブガーデンが栽培するハーブと阪神電鉄が栽培するキノコ類の相互供給、生産技術指導及び高付加価値品の研究・開発等を目的とする業務提携契約を締結いたしましたのでお知らせいたします。

大多喜ハーブガーデンは、千葉県内に、4,500㎡を越える全天候型室内ガラスハウスガーデンを有する人気施設であり、フレッシュハーブ等の栽培、販売等を行っております。また、平成28年3月には、順天堂大学大学院医学研究科病院管理学との間で高機能ハーブに関する産学共同研究を開始するなど、ハーブの生産に留まらず、ハーブの新たな可能性に向けた取り組みを開始しております。

一方、阪神電鉄では、平成27年11月から、大阪市内の鉄道高架下に隣接したビニールハウス内でシイタケの原木栽培を開始しています。また、平成26年3月には、高架下の未利用地の有効活用施策の一環として、阪神本線尼崎センタープール前駅（尼崎市）の高架下に、完全人工光型植物工場「阪神野菜栽培所」を開設し、翌年度には、神戸・六甲山から「微硬水“bikohsui” KOBE WATER」の発売を開始するなど、「安全・安心」という鉄道事業者のDNAを「ものづくり」に活かし、「食の安全」を沿線に提供しております。

今回の業務提携契約締結に伴い、大多喜ハーブガーデンが持つ長年のハーブ生産の知識・生産能力と阪神電鉄が手掛ける微硬水及びシイタケとを組み合わせることで、ハーブ・キノコ類等を原料とした付加価値品の研究開発及び生産に取り組んでまいります。

（プレスリリースに関するお問い合わせ先）
株式会社イントランス　管理本部　安藤（土・日・祝日除く 9 時 30 分～17 時 30 分）
電話：03－6803－3100
E-mail：info@intrance.jp

阪神電気鉄道株式会社　経営企画室（広報担当）　滝川
電話：06-64570-2130（平日 8：45～17：45）
　　080-1491-6385（上記時間外）
E-mail：koho@her.hanshin.co.jp

株式会社大多喜ハーブガーデン　山本（毎週火曜日除く 10 時～17 時）
電話：0470－82－2556　　E-mail：info@herbisland.co.jp